

仙台・東北公済病院

妊婦全員にPCR検査

医療従事者の感染防止

東北公済病院（仙台市青葉区）は11日から出産間近の妊婦全員に対し、新型コロナウイルス感染の有無を調べるPCR検査を実施する。病院によると、全妊婦のPCR検査は宮城県内の医療機関で初めて。国は第2次補正予算案に検査費用の助成金を計上し、体制整備に乗り出しているが、先んじて取り組みを始める。

宮城初きょうから

検査対象は同病院で出産を予定する妊娠37週目の妊婦。事前に同意を得て病院建物外に設置したテント内で検体を採取し、民間の検査機関に分析を頼む。検査費は当面、病院が全額負担する。結果は当日中に判明する見通しで、陰性の場合人は混みを避けるなど行動に気を付ければ、院内で出産を認める。陽性の場合は無症状でも保健所の指示に従い、感染者を受け入れる医療機関に転院してもらう。出産は医師や助産師が妊婦のしぶきや血液などに触れるため、感染リスクが高いとされる。妊婦の感染が



妊婦対象のPCR検査が始まるの前に、手順を確認する東北公済病院の看護師たち

後に判明すると、濃厚接触した医療従事者は自宅待機せざるを得なくなり、最悪の場合、診療崩壊につながる

め感染者を早期に把握する必要があり、希望する妊婦全員を対象を拡大する。同病院では2019年度、1185件の出産があった。岡村州博院長は「PCR検査だけでは院内からウイルスを完全に排除することはできないが、医療従事者や妊婦の不安を少しでも減らせばいい」と語った。出産前のPCR検査は、国も妊婦の不安解消を目的に助成制度を新設する。京都府や秋田県などは既に県費を投じ、医療機関での検査を後押ししている。

鼻だけを出してもらい、検査を行います。



マスクは鼻までずらしてください

マスクは正しく着用しましょう



【注意】

当院は、発熱外来、帰国者・接触者外来の協力医療機関ではありません。ご不安なことがある場合は、まずは、相談窓口にご連絡をお願いします。

健康電話相談窓口（コールセンター）

電話番号：022-211-3883
022-211-2882
受付時間：24時間対応